

貯法等 保存条件：室温保存
容 器：密閉容器

局 所 麻 酔 剤
日本薬局方
アミノ安息香酸エチル

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

- (1) 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者
- (2) 乳幼児〔メトヘモグロビン血症が報告されている。〕

【組成・性状】

組 成：本品1g中、日本薬局方 アミノ安息香酸エチル1gを含有する。

性 状：本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味はやや苦く、舌を麻ひする。

【効能・効果】

下記疾患に伴う疼痛・嘔吐
胃炎、胃潰瘍

【用法・用量】

アミノ安息香酸エチルとして、通常、成人1日0.6～1gを3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 副作用

種類\頻度	5%以上又は頻度不明	0.1～5%未満	0.1%未満
過 敏 症	過敏症状 ^{注1)}		
消 化 器		食欲不振、悪心、口渇、便秘 ^{注2)}	下痢等の症状 ^{注2)}
血 液			メトヘモグロビン血症 ^{注3)}

注1) このような場合には投与を中止すること。

注2) このような症状の継続又は増強がみられた場合は、減量又は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

注3) 異常が認められた場合には、投与を中止し適切な処置を行うこと。

2. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、減量するなど注意する。

*3. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上まわると判断される場合にのみ投与すること。

4. 小児等への投与

メトヘモグロビン血症が報告されているので、乳幼児には投与しないこと。(「禁忌」の項参照)

5. 適用上の注意

- (1) 長期連続投与は避けること。
- (2) 服用にあたっては、口内にしびれ等を残さないため速やかに飲みくたすよう注意させること。

**【薬効薬理】

- (1) 適用局所における知覚神経の末梢に作用して麻酔作用を発揮し、求心性刺激の伝達を遮断して鎮痛効果を示す。
- (2) 潰瘍化した表面、炎症粘膜面及び創傷表面などの痛みを寛解し、また胃粘膜刺激による嘔吐を抑制する。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：アミノ安息香酸エチル (Ethyl Aminobenzoate)

(日局別名) アネスタミン、ベンゾカイン

化学名：ethyl-4-aminobenzoate

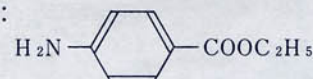
分子式：C₉H₁₁NO₂

分子量：165.19

融 点：89～91℃

性 状：本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味はやや苦く、舌を麻ひする。エタノール又はエーテルに溶けやすく、水に極めて溶けにくい。又、希塩酸に溶ける。

構造式：



【取扱い上の注意】

〈配合変化〉 カンフル、メントール、レゾルシンと混和すると液化する。
アルカリの存在で水と煮沸すると加水分解する。

【包装】 500g

【主要文献】

1) 第13改正 日本薬局方解説書(1996)。(広川書店)

【文献請求先】

山善製薬株式会社 学術室 TEL06-6231-1821 FAX06-6231-1824

〒541-0045 大阪市中央区道修町2丁目2番4号



製造販売元
山善製薬株式会社
大阪市中央区道修町2丁目2番4号